



VOL.74

「桂川っ子」の文字は、
桂川中学校美術部員が
デザインしたものです。



■ ■ ■
家庭という学校

桂川小学校 校長 大庭公正

子どもたちが待ちに待った夏休みも、はや8月に入りました。連日、暑い日が続いておりませんが、子どもたちがそれぞれの家庭で元氣いっぱい過ごしている姿が目に見えます。

私は、夏休み中の家庭も一つの「学校」だと考えています。学校とは学習方法などの違いがありますが、「子どもを教え、育てるところ」は同じと考えます。「家庭という学校」では、先生は保護者の方々であり、さらには、祖父母の方々、近所の皆さま、公共施設の方々など、たくさんおられます。学校では学べない知識や知恵をこの機会に獲得させてほしいと願っています。

1. 人から学ぶ

学校では限られた人との中で学習が多いのですが、夏休みという特色を活かして様々な人から学ぶことをしていただきたいです。保護者の方は子どもたちの第一の先生ですが、地域の方々などたくさんの方とふれ合う機会を持つ

て、多方面からの知恵を学んでほしいものです。

2. 行事から学ぶ

皆さんが住んでいる桂川町には、その地域にしかない様々な伝統や文化が伝えられています。その地域の行事に、親子、家族ぐるみで参加してほしいと思います。きつと、参加することで郷土を誇りに思う子どもが育つてくれます。

3. ものから学ぶ

自分の住んでいる地域の文化財（有形・無形）や施設（公共・民間）を訪ねることをおすすめします。昔のものが今に伝えられていること、みんなのために使えるようにしてあることなど、その良さをぜひ、家族とともに感じる学習をしてほしいと思います。

これらの学習は、一度限りで終わるのではなく、夏休みという機会を捉えて、納得のいくまで何度も、何年もかけて学習を継続させたいものです。きつとそこに子どもの成長の証が見られます。

■ ■ ■
桂川町における

「土曜学習教室」について

桂川町教育委員会

桂川町では、一昨年から年に16回程度の「土曜学習教室」を実施しています。本年度も、既に6月28日、7月12日、7月26日に実施しました。毎月第二・第四土曜日の午前中を基本として、桂川小学校は住民センターで、桂川東小学校自校の図書室で、中学校は自校のTTLルームで、学習しています。

この「土曜学習教室」は、桂川町の小中学校の子ども達に幅広く学習の機会を提供するとともに、地域等の人材を活用した事業を推進することにより児童・生徒の学力の向上を図る目的で始めたものです。

福岡県の教育委員会が推進する「土曜日の教育活動」の中から、桂川町では次の事業を実施しています。

「土曜授業」

学校週5日制の趣旨を踏まえつつ、保護者や地域住民などに開かれた学校づくりを推進する観点から行う家庭・地域との連携による行事や授業。保護者や地域住民などへの公開授業など。



「土曜学習教室」

市町村教育委員会が中心となり、市町村の施設等で、希望する小中学生に対して行う補充学習。

これらの「土曜日の教育活動」については、本年度より、県教育委員会から活動費に対しての補助金が交付されるようになりました。

桂川町では、「土曜授業」と「土曜学習教室」で補助金申請をしています。特に、「土曜学習教室」では、小中学校の主幹教諭に、土曜教育コーディネーターをお願いし運営に当たっています。また、実際に指導していただく土曜教育推進員には、地域の方や学校の教員、大学生にお願いしています。

桂川小学校では五・六年生44名、東小学校でも五・六年生11名の児童が、国語と算数の学習をしています。

中学校では、一年生から三年生までの31名が基礎コースと応用コースに分かれて、数学と英語の学習をしています。夏休みもがんばって学習をしていますので応援してあげてください。

【お詫びと訂正】

広報けいせん7月号桂川っ子の記事で、2段目の冒頭に以下の1文が抜けていましたので、お詫びして訂正します。

「長崎県では、ラインへの書込みによ